



特集

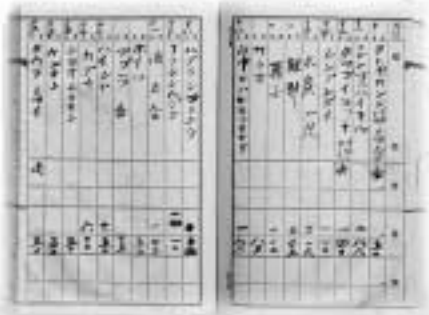
地域史料の活用のために

どんど焼き
おんべが真っ赤に燃え上がり
みんなの顔を照らし出す
ひとつの炎をきっかけに
人と人がつながってゆく
(写真は下久堅地区)

地域史料の活用のために

チラシやパンフレット
(上)中央自動車道開通の案内パンフなど。
(下)種苗目録。品種も今と違います。

日記や家計簿
時代を通してみると、物価の
変化などがわかります。



手紙
私信だけではなく、行事案内の葉書
なども当時を知るのに貴重です。



地域の史料は身近なところにある

私たちが現在の地域の姿を正確に把握し、未来を切り拓く方法を考えるためには、過去にそこで生活を送っていた人びとの歴史を知ることが大切です。過去の人びとの生活の様子を伝えてくれるもの、それが歴史資料(以下史料)です。
歴史研究所では、地域の歴史を市民の皆さんと一緒に学ぶことを大切に考えています。

そこで、残されているさまざまな史料をより多く、より良く保存・活用していくことを目指して、本格的な所在調査を開始します。

「史料」というと、和紙に筆で書かれたような、いかにも古い文書をイメージしがちです。しかし歴史研究所では、古いものだけでなく、現在に近いものまで、調査対象として考えています。今から何百年も後の時代には、現代の記録もれっきとした史料になるからです。

例えば、災害の様子を撮影した写真や地域の変化がわかる記録文書などは、時代を問わず貴重な史料となります。

また、人びとがごく普通の生活の中で何気なくふれている情報も、大切な史料なのです。

上の写真は、市民の皆さんから提供していただいた史料の一部です。

普段よく目にするチラシや、家計簿を見れば、当時の人たちの生活状況が分かります。個人の日記や手紙の中にも、その人が生きた時代の地域の様子を伝える情報が詰まっているのです。

学校で書いた作文やノートを通じて、当時の授業の様子を知ることがもできるでしょう。子どもの目から見た当時の社会の様子がわかる場合もあります。

当時の人たちの服装や、町並みの様子を知るのに、スナップ写真が役立つこともあります。

このように、歴史を知る材料となるものは、身近なところにあふれているのです。



スナップ写真
当時の風景をそのまま伝えてくれます。

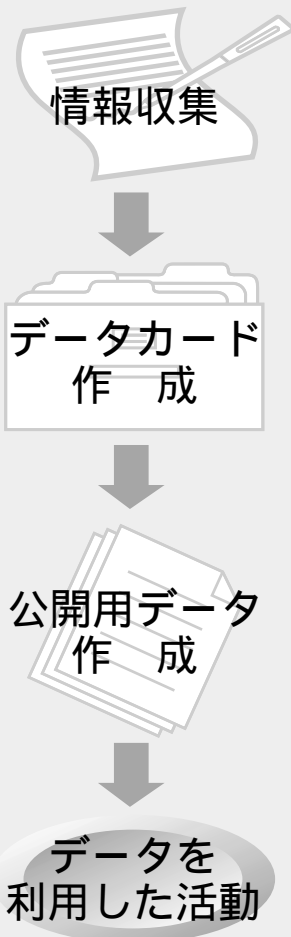


会社や店についての書類
当時使われていた機械の図面、経営書類などが個人のお宅に残っていることもあります。大工場だけでなく、個人の商店や組合などの書類も大切です。



教科書やノート
教科書の書き込みや、子どもの作文...懐かしいだけでなく、重要な史料です。

調査～活用の流れ



まず、地域の皆さんから史料の所在についての情報をいただき、研究所職員が調査に出向きます。
併せて、過去の調査記録や研究成果をもとに、史料が残っている可能性のあるところを調査します。

史料の所有者ごとにデータカードを作り、保管場所や保存状態、現時点までの伝来過程などをできるだけ詳しく記録します。史料点数が多い場合は、現時点で建物の中のどこにしまっているかも、写真やスケッチで記録します。

これまでの調査経過についても、所蔵者の方や実際に調査をなさった方からお話をうかがいます。

調査で得たデータは、プライバシーなどに配慮しながら、広く市民の皆さんが利用できるような整理・公開します。

調査の過程で、緊急に保存場所の確保や詳しい調査が必要な場合には、その都度対処します。

また、この調査で得たデータは、史料の整理・目録作成や建造物調査、聞き取り調査などの活動に活かしていきます。

なぜ今調査を行うのか

私たちの地域には、歴史を知るための史料が多く残されてきました。しかし代替わりや時代の変化によって、それらの史料が廃棄されたり地域の外に流出したりといった事態が進行しつつあります。
できるだけ多くの史料を残し後世に受け継いでいくためには、現時点でどのような史料が残されているの

かを把握する必要があります。そして、それらの所在情報をきちんと文字の形で記録し、リストを作成しておくことが大切なのです。
具体的には左図のような流れで調査を行い結果をまとめます。まとめられたデータは、市民の皆さんに活用していただいたり、それを利用した活動に活かしていきます。

各地区を ブロックに分け調査

最終的な対象地域は飯田市の内外を含めた下伊那地域全体です。

しかし、広域だと綿密な調査ができなくなる恐れがあります。そこで、実態をより細かく把握するため、市内を地区ブロックに分けて集中調査を行います（左下ブロック図参照）。

各地区の皆さんの協力を得ながら、具体的に計画・実施していきます。

最初に橋北・橋南・東野地区を対象とします。これ

らの地区は、昭和22年の大火などの災害によって、かなりの史料が失われてしまいました。

また、人の出入りが大変激しく、様相は目まぐるしく変わっています。過去の様子を知る人も少なくなっており、急いで調査を始める必要があります。

ただしこれは、調査対象地区を限定するという意味ではありませんが、全地域の情報を収集する全域調査も併せて行います。

- (A) 橋北・橋南・東野
- (B) 羽場・丸山
- (C) 座光寺・上郷
- (D) 鼎・松尾
- (E) 竜丘・川路・三穂
- (F) 伊賀良・山本
- (G) 下久堅・上久堅
- (H) 龍江・千代

ブロックの記号は、集中調査の順を示すものではありません。
ブロック構成は変更する場合があります。

以前調査された史料も現在の状況を調査

飯田・下伊那地域では、これまでに多くの人々の手によって郷土の歴史研究が進められてきました。

町村誌編さん、古文書調査、目録作成など多くの成果が生まれました。このような活動自身が地域の貴重な財産です。

この事業では、以前に調査された史料についても、現時点での所在状況を再調査します。長年にわたる歴史研究の歩みを、地域の共有財産として未来に受け継ぐために必要だと考えています。

千代中山家調査風景

以前調査された史料は、公共施設に寄贈・寄託されているものもありますが、多くは所蔵者のお宅などで、ご家族の手で大切に保存されてきました。町村誌や目録を参照してこれらの史料の所在リストを作ります。

そして、史料がどのような経過をたどって現在まで残されたか、以前にどのような調査がされてきたかなど、所蔵者の方や実際に調査をなさった方からお話をお聞きします。

また現時点での所在状況について、写真やビデオ、スケッチなどで記録します。

全地域対象の情報収集活動

すべての地区に関して、史料に関する情報収集を継続して行います。

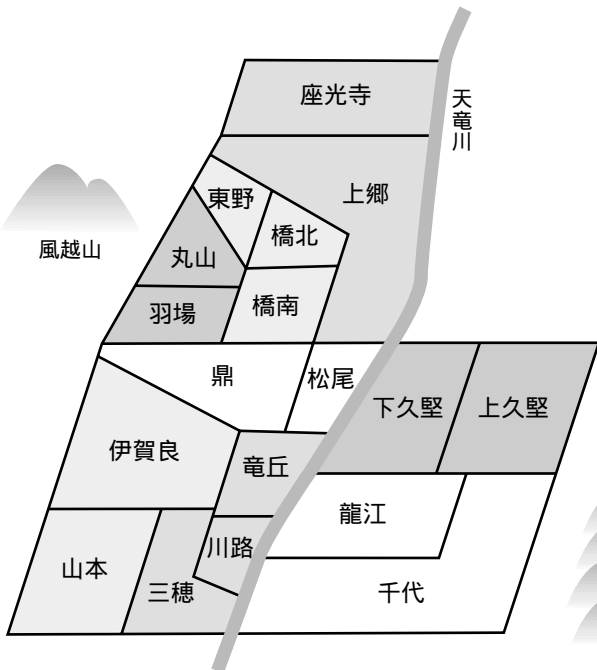
市民の皆さんからお電話などで情報をいただき、データカードを作成します。必要に応じて研究所職員が詳しい調査に向かいます。

史料の分量や状態のいかに問わず、多くの方からの情報をお待ちしています。



昭和22年の大火で焼け野原と化した市街地

【史料調査地区ブロック図】



南アルプス



下の写真は、昭和36年の夏ころの、知久町3丁目を写したものです。「懐かしい」と思う方も多いでしょうが、じっくりながめると歴史に関する当時の情報がたくさん含まれていることが分かってきます。

平成16年8月の様子（左の写真）と比べると、まちの変化がはっきり分かります。

下の写真にはまだアーケードがありません。そのため左側（北側）の店は、それぞれ工夫して布を張り、日よけをしています。

道路を横断してネオンアーチがかかっています。竹に赤提灯をたくさんぶら下げたものが、奥の方まで続いているも見えます。

看板から店の名前が分かりますが、現在まで続いているものもあります。いくつかの建物は当時の姿を今にとどめています。電柱の位置は、さほど変わっていないようです。

このころの知久町には、歩道と車道の区別がなく、自動車のかわりに、多くの自転車が走りかかっています。

夏だからでしょう、白い半そでシャツを着ている人が多くみられます。こういつた写真の分析に、聞き取りや他の史料

1枚の写真から歴史をよむ



平成16年の知久町風景



昭和36年の知久町風景

（日記や帳簿など）を組み合わせてみると、商売やまちの生活の歴史をより深く知ることができます。

一見平凡な写真でも、さまざまな歴史が分かる、立派な史料だということが確認できます。

皆さんのおもにも、こういった写真があるのではないのでしょうか。

学習会・報告会を
随時開催します

調査は長期間にわたるものとなりますが、その間、機会を設けて報告会や中間学習会を行います。

市民の皆さんと、どのようなものが重要な史料なのか、史料からどんなことが分かるのかを学習し合うことが目的です。

また、新たな史料の所在についての情報交換も行いたいと思います。

どなたでも楽しみながら歴史に興味を持てるように計画します。詳しくは随時お知らせしますので、お気軽にご参加ください。



研究会風景

史料情報をお寄せください

この広報をご覧いただき、記事に該当するような史料をお持ちの方は、ぜひご連絡ください。

貴重な史料を保存・活用していくため、市民の皆さんのご協力をお願いします。

連絡先・問合せ

飯田市歴史研究所

☎ (53) 4670

FAX (21) 1173

Eメール

iihr@city.iida.nagano.jp

飯田市成人式

地域の喜びを感じながら



タイムカプセルを埋める三穂地区成人者

1月9日、市内14会場で開催しました。今年の成人該当者は、男性739人女性834人の合計1,573人。

各会場では、公民館ごとに組織する実行委員が企画した、地域の特色を生かしたさまざまな式典やイベントが繰り広げられました。

地元の方々や親、恩師などの祝福を受けながら、近況報告や思い出話、そして将来の話に花が咲いていました。



龍江地区成人式会場

青少年健全育成・暴力追放市民大会 みんなの手で社会を守る



1月16日、文化会館で開催。「飯田地方の暴力団について」の現況報告や、「子どもの心を育てる」と題した自然体験とあいさつの必要性についての講演に、集まった皆さんは聴き入っていました。



各地区のマツイを振って「エイエイオー」

1月10日、文化会館で開催。長年消防団員を務め功績のあった方々や、無火災の地区を表彰。式典後は大勢の市民が見守る中市内をパレードし、会場を通り町に移してマツイ振りや模範訓練などを行いました。昨年は「災」が多かっただけに、災害に対する日ごろの備えが大切と感じました。



かざこしかるた大会 47枚の飯田弁かるた

1月8日、かざこし子どもの森公園で開催しました。

使用したかるたは「ぬくといではいっといな」「しみつたれとっちゃだめに」など飯田のさまざまな方言を題材にし、制作したオリジナル品。

会場では、元気よく「ハイッ」と札をたたき子どもたちの笑顔や、方言の解説を聞き、感心したり驚いたりしている大人たちの姿がとても印象的でした。



どんど焼き おもち焼けたかな



下久堅下虎岩でのどんど焼き風景

1月上旬から中旬にかけて、各地でどんど焼きが行われました。おんべを燃やした後のおきで、楽しみながら餅を焼いていました。この餅を焼くときに使った竹を家に持って帰ると、1年火事がなく過ごせると言われています。

消防出初式 災害のない地域に



長年消防団員を務めた方々を表彰(写真は代表者)

現代版 養生訓

顎変形症

皆さんの中で、顔の左右のバランスの悪さが気になる方、あるいは受け口がひどく食事が食べにくいといった悩みをお持ちの方はいらっしゃるでしょうか。このような顎骨の異常による顎顔面の変形あるいは美的不調を呈する疾患を称して顎変形症といえます。歯並びだけの問題であれば歯科矯正治療だけで治すこともできますが、歯が植わっていない顎骨自体に問題がある場合はそれだけでは治りません。このような場合、外科的矯正手術の適応となります。

手術に先立ち、矯正歯科医による術前矯正が行われます。術前矯正とは、手術後に上下の歯がちゃんと噛み合うように、あらかじめ行っておく矯正治療のことです。顎変形症の割合としては下顎前突症が多く、この場合は下顎の骨を切つて短く詰める下顎短縮術を行います。手術は全身麻酔下で行われ、口腔内から行うため顔に残る事はありません。下顎の骨を左右2カ所から切断し、後ろに下げた状態で金属ワイヤーあるいはプレートで固定します。手術の最後に上下の歯をゴムやワイヤーで結び顎を固定します。これは手足の骨折の際のギブスに相当します。顎間固定の期間は2週間から4週間で、この間は口を開けられませんので流動食となります。術後2週間から1カ月で退院となり、以後は外来で術後の経過を観ていきます。



飯田市立病院
〒395-8502 飯田市八幡町438
TEL.21-1255

飯田市立病院 高松分院
〒395-8503 飯田市上郷黒田341
TEL.22-5060



市立病院 歯科口腔外科
飯島 響 医師

力を防ぐために、術後も矯正歯科医による術後矯正が必要となります。このように、顎変形症の治療とは、術前・術後の矯正治療を併せると数年の治療期間を要し、矯正歯科医と口腔外科医の緊密な連携の上に成り立っています。治療には健康保険が適用されませんが、経済的・時間的負担も生じますので、顎変形症でお悩みの方は、まず矯正歯科医・口腔外科医を受診していただき、相談することを勧めます。

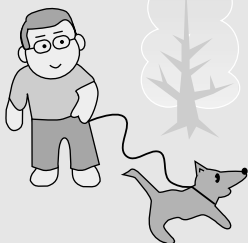
散歩道にて

飯田市長 牧野光朗

その2 「竹宵の魅力」

一昨年から年越しには竹宵の手伝いをしていました。竹宵は、竹を何本も切つて中に口ウソクをともし、外に並べて楽しむものです。やろうと思えば、誰でも、いつでも、どこでもできます。

しかし実際にやってみると、なかなか奥が深く、どのように竹を切るか、どうやって口ウソクを入れるか、どこにどのようなように並べるか、議論百出になります。竹宵仲間が集まって地酒でも傾けながら、ああでもない、こうでもない」と語り合うのも楽しみの一つと言えます。「地域づくり」を難しく考えな



けても、誰でも気軽に自分たちの地域の彩りを考えることができるのは、竹宵ならではの魅力です。飯田においては、一昨年の年越しに川路神社で、川路竹宵が始まりました。先日年越しの時は、鼎の矢高神社でも竹宵がありました。竹宵の魅力にとりつかれた「タケヨイスト」たちは今後も増えていきそうです。竹宵の御本家は「まちづくり」ならぬ「まち残し」の考え方で街並み保存を進めている大分県臼杵市です。11月初旬の土・日曜日(2日間)に行われる「臼杵竹宵」は、8年ほど前に街の片隅で始まりました。今では街中を埋め尽くす竹宵を楽しむために、全国から10万人以上の観光客が集まるイベントになっています。

わたしの ひとこと

子どもたちに読書を

かやの きかん きたはらえつお
榎の木館 北原悦朗さん

市民の ひろば

長年小学校に勤め読書指導に力を注いできて、童話や物語の好きな子どもたちはみな優しい心の持ち主であることを知りました。昭和47年、母校伊賀良小学校へ転任してきた折「退職したら図書館を建て子どもたちに読書を提供しよう」と妻に呼びかけました。

それから10年、小遣いはすべて児童図書を中心にした本代に充て準備にかかりました。退職は昭和60年でしたが、昭和58年2月、住宅の横に床面積20坪、2階建ての図書館「榎の木館」を建てました。開館は5月1日、大人向けの文学書や教育書も含めて約



2,000冊からの出発でしたが、十年來の夢がかない私たち夫婦には大きな喜びでした。(現在の蔵書は5,500冊ほどです)

通常開館は毎週土曜日の午後です。本の貸出しと、子どもたちには紙芝居をしてやり、母親たちとは教育懇談をしたり、教育相談にも応じてきました。

昭和59年から平成15年までの20年間、利用者数と貸し出し冊数は、延べ23,908人、46,665冊に上っています。なお、学習会、諸会合、サークル活動などにも榎の木館を利用してもらっていますが、毎月7、8回は利用されています。

最近は子どもたちの来館が減ってきて残念ですが、この活動はずっと続けたいと思っています。

なまびこトーク

- 毎月市民の皆さんに、
1. 私の健康法
 2. 感動したこと
 3. 今がんばっていること
 4. まちづくりへの提言

4つの項目の中から選んで語っていただき、次の方にバトンタッチする「リレートーク」です。次はあなたの番かも・・・

先月の北原みすゞさん(上郷)から

私の健康法

すがぬまた かこ
菅沼多佳子さん(松尾)



これと言って長続きしている健康法も、特に今頑張っていることもなく、何を書こうか困ったのですが、唯一、趣味とストレス解消を兼ねた健康法が、週末のお日様の下での庭いじりです。

中でも主人と2人で何年も続けていて自慢できるのは、種から育てるパンジー栽培で、夏の終わりに種まきし、植え替えを繰り返して翌年の初夏まで楽しんでいきます。

今は雪の下のパンジーが春咲き始めると、草取り・虫退治・花殻摘みに明け暮れます。

2人とも健康でお日様の下で庭作りできることに感謝しつつ、いつか時間に余裕ができたなら、地域の花いっぱいのお手伝いでもしたいなと思っています。

ぼくのゆめ わたしのゆめ

甲子園に行きたい

おおたいら つよし
大平 剛さん
(龍江小6年)



ぼくの夢は、野球で甲子園に出ることです。今、ぼくは龍江少年野球クラブに入っています。もう冬なので、今は練習や特訓はやっていませんが、中学へ行っても、野球部に入って続けたいと思っています。

なぜ、ぼくが甲子園に行きたいかというと、テレビで見てかっこいいと思ったからです。そして、甲子園に行けたら、ヒットなどを打って活やくしたいと思います。そして、プロでもやっていけたらいいなとも思っています。



市役所ガインのよこばち



お知らせ

自転車のタイヤは外さずに集積所へ

2月1日からは、自転車のタイヤを外さなくても集積所に出すことができます。不要となった自転車はそのまま、資源ごみ(金属資源)の収集日に集積所へ出して下さい。

問合せ 環境保全課

廃棄物対策係
内線5248

歴史研究所 2月の月例研究会

歴史研究所では、毎月1回研究員が研究内容を報告し、意見交換する会を行っています。お気軽にご参加ください。事前の申し込みは必要ありません。

日時 2月19日(土)

午後2時～4時

場所 歴史研究所研修室

(市役所上郷支所庁舎)

内容 「1950年代農村社会の変貌 竜丘村新農村建設計画を中心に」戦後改革から高度成長に至る1950年代の農村の変貌を明らかにしていきます。事例として下伊那郡竜丘村(現竜丘地区)を取り上げ、積雪寒冷単作地帯農業振興事業から新農村建設計画に至る村の歴史を追います。

報告者

森武磨氏(一橋大学教授・歴史研究所顧問研究員)

問合せ 歴史研究所

☎(53)4670

来春大学等卒業対象 合同会社説明会

平成18年3月卒業予定の大学・短大・専門学校生を対象とした、地元企業の説明会です。この機会に地元企業を知り就職に役立てて下さい。事前の申込は必

要ありません。直接会場へお越しください。

内容 大学1・2年生の企業プレゼンテーションへの参加も可能です。

日時 2月22日(火)

午後0時30分～5時

場所

飯田勤労者福祉センター

内容

企業によるプレゼンテーション(1社10分程度)個別面談による会社説明就職に関する相談コーナー

問合せ

産業労政課 労政係
内線4419

飯伊地域 就職面接会開催

求職者を対象に、飯伊地域の企業の人事担当者と直接面接をしていただく就職面接会を開催します。

事前の申込は必要ありません。直接会場へお越しください。

市役所の電話番号は☎(22)4511です

日時 2月24日(木)

午後1時30分～4時

場所 地場産業センター

問合せ

ハローワーク飯田

☎(24)8609

平成17年5月以降検針の

水道料金と簡易水道料金を統一します



口径13ミリ簡易水道の
基本料金(2カ月分)

2,226円

値下げ

口径13ミリ水道の
基本料金(2カ月分)と同額

2,016円

口径はここをご覧ください

水道事業の一層の経営効率化を目指し、簡易水道料金を一部値下げして、市内の水道・簡易水道の料金を統一します。

値下げの対象となる地区 = 簡易水道の地区
龍江、山本(久米を除く)、伊豆木、下久堅(知久平を除く)、沢城、千代、上久堅(平栗・蛇沼・大鹿)

今年は水道料金見直しの年ですが、検討の結果、今後3年間水道料金を据え置くこととしました。ご理解ご協力をお願いします。

水道検針票	
平成 17 年 2 月分	
水道番号	00012345-01
本住所所在地	飯田市龍江
ご住所名称	飯田 太郎様
ご検針期間	12月10日～2月10日
メーター番号	12-3456-789-S
口径	13
今回メーター検針	297
前回メーター検針	257
メーター取替までの水量	0

問合せ 水道業務課 上水道経理係 ☎(22)4511 内線5255

2月の納税

納期

2月28日(月)

税目

固定資産税(4期)
国民健康保険税(2月分)

納税には便利な口座振替を
ご利用ください

申込期限 3月2日(水)
問合せ 保健課 保健指導係
内線 5514
FAX (53) 8867

子宮がん検診 5月～12月
乳がん検診 4月～12月
肺がん検診 9月～10月
申込方法 各戸配布の申
込用紙に記入し、担当保
健推進員、市役所支所・
保健センターまで提出ま
たはFAXでお申し込み
ください。

4月からの各種検診申込
みを受け付けます。年に一
回は検診を受け、自分の体
を知る機会を持ちましょう。
実施期間
基本・胃・大腸検診
4月～7月

各種検診受付開始

BCG予防接種制度変更点比較

	現行(3月まで)	変更後(4月から)
対象年齢	4歳に 達するまでの期間	生後6カ月に 達するまでの期間
接種方法	ツベルクリン反応検査を行い、 48時間後に判定。判定の結果 によりBCG予防接種を行う。 保健センターで集団接種	最初からBCG予防接種を行い、 ツベルクリン反応検査は行わない。 医療機関での個別接種

BCG予防接種の
対象、接種方法の変更
4月から、BCG予防接
種の対象年齢と接種方法が
変わります。
変更点 左記比較表参照
変更後は、生後6カ月を
過ぎた子どもがBCG予

臨時BCG予防接種日程表

ツベルクリン 反応検査	判定とBCG接種	時間(受付)	場所
2月 8日(火)	2月10日(木)	午後1時30分 ～ 2時	保健センター (飯田市役所)
2月16日(水)	2月18日(金)		
2月22日(火)	2月24日(木)		
3月 1日(火)	3月 3日(木)		
3月 9日(水)	3月11日(金)		
3月16日(水)	3月18日(金)		
3月22日(火)	3月24日(木)		

予防接種を受ける場合は有
料になります。
臨時BCG予防接種
市では、BCG接種日現
在4歳未満で、まだ接種
を受けていない子どもを
対象に、左記の日程でツ
ベルクリン反応検査・B
CG予防接種を行います。

山づくり地区懇談会日程表

期日	地区	場所
3月1日 (火)	龍江	龍江公民館
	三穂	三穂公民館
	川路	川路公民館
3月2日 (水)	上郷	上郷公民館
	下久堅	下久堅公民館
	山本	山本公民館
3月3日 (木)	上久堅	上久堅公民館
	橋北、橋南、 羽場、丸山、 東野、松尾、鼎	市役所3階 大会議室
	千代	千代公民館
3月4日 (金)	座光寺	座光寺公民館
	伊賀良	伊賀良公民館
	竜丘	竜丘公民館

山づくり・森づくりにつ
いて市民の皆さんからご意
見を頂く懇談会を飯田市森
林組合と合同して行います。
山・森には、水源確保、大
気浄化、地球温暖化防止、
山崩れや洪水の防止などの
公益的機能があり、私たち
はその恩恵を受けて生活し
ています。

山づくりに皆さんの声を
地区懇談会開催

対象となる子どもをおも
ちの方は、日程を確認し、
接種を受けてください。
問合せ
保健課 健康推進係
内線 5511

多くの方に参加いただき、
今後の山づくりについて話
し合います。
日程 左表
時間 午後7時～9時
問合せ
林務課 林務係
内線 5511

福祉事務所
福祉課・児童課・介護高齢課
は
本町1丁目再開発ビル
りんご庁舎2階
にあります。



**児童センター
児童クラブ厚生員**

応募資格
保育士資格、幼稚園教諭
または教員免許取得者で、
健康で児童保育に熱意の
ある方(50歳位まで)。

募集人数
児童センター 2人
児童クラブ 3人

業務内容
小学校低学年児童の放課
後および土曜日の保育。

勤務時間
月～金曜日
午後1時～6時
児童クラブは午後2時～
6時

土曜日
正午～午後6時

採用予定日 4月1日

給与
飯田市臨時職員および非
常勤職員処遇規定による。

試験方法
書類審査・面接

応募方法

市販の履歴書(写真貼付)
を本町りんご庁舎2階見
童課に提出してください。

応募締切 3月4日(金)

提出先・問合せ
児童課 保育係
内線5341

文化会館臨時職員

応募資格
電気関係の知識を持ち文
化の振興に熱意のある方
(40歳位まで)。

募集人数 1人

業務内容
施設管理業務
ホール業務補助(照明・
音響・舞台)

採用予定日 4月1日

給与
飯田市臨時職員および非
常勤職員処遇規定による。

試験方法
書類審査・面接

応募方法 市販の履歴書
(写真貼付)を文化会館
まで提出してください。

応募締切
2月21日(月)(必着)

提出先・問合せ
〒395 0051

飯田市高羽町5丁目5 1
飯田文化会館 管理係
☎(23)3552

**高齢者初春事業
参加者**

飯田市高齢者クラブ連合
会で行う囲碁・将棋・かる
た(百人一首)大会です。
多くの方のご参加をお待
ちしています。

今年から、短歌・俳句・
川柳大会は行いません。

対象 飯田市にお住まい
の60歳以上の方。

日時 2月22日(火)
午前10時～午後4時

場所 県公民館

参加される方は各自昼食
をご用意ください。

申込締切 2月10日(木)

申込・問合せ
介護高齢課 高齢者係
内線5382

**動物園の
休園日**

2月	7日(月)	14日(月)
	16日(水)	21日(月)
	28日(月)	
3月	7日(月)	14日(月)

問合せ
動物園
22-0416

広報
はままつ

三市合同企画第三十七回

浜松まつり会館
浜松市

浜松まつりは、毎年5月
3日～5日に行われる浜松
市最大のイベントです。ま
つりの魅力は、150を超
える町が参加する勇壮な風
揚げ合戦と夜を彩る御殿屋
台の引き回しです。中田島
砂丘のそばにある浜松まつ
り会館は、まつり期間以外
でもまつりの熱気と興奮を
味わえる施設です。



まつりの臨場感あふれる「風展示室」

館内は、主に風展示室と
屋台展示室に分かれていま
す。風展示室では、およそ
440年の伝統を誇る風揚
げ合戦の様態を映像や音響
装置によりダイナミックな
構成で表現し、大小40数町
の風が上空を悠々と乱舞す
る様子を再現しています。
風揚げ合戦の勝敗の力ギを
握るのは風系です。風系製
造室では、参加町が同じ強
さの風系で合戦ができるよ
う、ここで製造したものを
参加町に配布しています。
一方、屋台展示室では、豪
華絢爛な屋台の行列、華麗
な夜のまつりを実物の御殿
屋台に映像・音響装置を組
み合わせることで臨場感あ
ふれる展示となっています。

会館では浜松観光ポラン
ティアガイドの皆さんが無
料で浜松まつりに関する解
説を行っています(事前予約)。
また、主に小・中学生を対
象に「風作り教室」を開催し、
名人が風作りを指導するな
ど(事前予約・実費)、見る
だけでなく風作りが体験で
きるイベントも行われてい
ます。



「屋台展示室」浜松市の屋台を展示

入場料 大人400円、
中学生以下・70歳以上
は無料

問合せ 浜松まつり会館(浜松市中田島町1313) ☎053-441-6211 休館日:第3月曜日

ふるさとの里山再生
キノコの駒打ち体験

竜丘財産区と合同で、杖打ちや間伐などの里山の整備、キノコの駒打ち体験を行います。

駒打ちしたホダ木は持ち帰り、キノコの成長を見ることが出来ます。

日時 2月27日(日)

午前8時30分～正午
小雨決行。天候の悪い場合は、3月6日(日)に延期します。

当日は午前8時30分に竜丘公民館の駐車場に集合してください。体験場所までの交通手段は市で用意します。

体験場所 白井里山林
(竜丘地区財産区所有林)
持ち物

作業のできる支度(履物は運動靴など)、軍手、雨具、ノコギリ(ある方)。

募集人数 30人(先着)

申込締切

2月18日(金)

申込・問合せ

林務課 森林経営係
内線3537

市営住宅入居者

募集戸数

平成17年8月末までに空家となる戸数。

入居者の資格 次のすべての条件を満たす方。

現に同居し、又は同居しようとする親族がいること(申込時点から3カ月以内に結婚する方を含む)原則、きょうだいでの申し込みはできません。

50歳以上の方、障害をお持ちの方で身体障害者手帳1級～4級をお持ちの方は単身でも入居できます。

(ただし、常に介護が必要な方は、単身で入居できない場合があります)

収入が、飯田市営住宅等管理条例に規定する基準(下表)以内であること

市町村税を完納していること

住宅に困っていることが明らかなこと

外国人登録をしている方は、日本の在留期間が1年以上あること

入居の条件

組合への加入

自治会費の支払い(共益費を含む)

提出書類

申込書(用紙は建築課)

申込書の郵送を希望する方は、80円切手を貼った返信用封筒を同封して建築課住宅係へ。

入居予定者全員の住民票の写し(外国人登録原票

の写し)

記載事項証明書)
前年の収入が分かる書類
(所得証明書、源泉徴収票、確定申告書の写しなど)

市町村税の完納証明書

その他該当する場合は事実を証明する書類(戸籍

の謄本、障害者手帳など)

申込受付期間

2月28日(月)～3月11日(金)

午前8時30分～午後5時15分

土・日曜日は受付していません。

抽選日時・場所

3月17日(木) 午前10時

市役所3階大会議室で公開抽選。

申込・抽選には、本人または代理人の方が必ず来庁してください。

問合せ

建築課 住宅係

内線2753

収入の基準(平成15年中の給与収入) (円)

住区分	扶養親族	0人	1人	2人	3人	4人
1号市営	一般階層	3,675,000	4,151,000	4,627,000	5,103,000	5,575,000
	裁量階層	4,695,000	5,171,000	5,647,000	6,123,000	6,595,000
2号市営	一般階層	2,603,000	3,151,000	3,683,000	4,155,000	4,631,000
	裁量階層	3,311,000	3,823,000	4,295,000	4,771,000	5,247,000
3号市営	収入下限	—	4,151,000	4,627,000	5,103,000	5,575,000
	収入上限	—	9,768,000	10,181,000	10,581,000	10,981,000

扶養親族数は、本人を除いた人数で、税法上の扶養ではありません。
裁量階層とは、入居者全員が50歳以上の世帯や入居者の中に1級～4級の障害をお持ちの方がいる世帯などを指します。

入居を募集する市営住宅

区分	団地名	所在地	家賃	間取り	備考	浴槽
1号市営	北の原市営住宅	松尾	16,900円～41,700円	3DK		有
	三尋石市営住宅A・C棟	大瀬木	19,400円～52,900円	2LDK～3LDK	オール電化	有
	二ツ山市営住宅	山本	2,200円～20,500円	2K～4K		無
	平林市営住宅	鼎切石	21,400円～47,000円	3DK		有
	大堤市営住宅	座光寺	4,700円～27,300円	2K～3K		無
	長野原市営住宅	時又	12,900円～34,900円	3DK		無
	飯沼市営住宅	上郷飯沼	11,300円～35,000円	3DK		有
2号市営	黒田市営住宅	上郷黒田	17,200円～39,500円	3DK		有
	西の原市営住宅	大休	9,700円～26,700円	3K		無
3号市営	三尋石市営住宅・B棟	大瀬木	44,600円～72,300円	2LDK～3LDK	オール電化	有

オール電化住宅は、ガス器具を使用できません。給湯設備は設置していますが、電気調理器(電気コンロなど)は、入居する方の負担で設置することになります。
浴槽無しの住宅では、入居する方の負担で浴室に浴槽、風呂釜を設置することになります。
家賃は、住宅の築年数、広さ、入居する方の収入により決定します。
駐車場は1世帯1台分のみ、使用料は家賃に含まれます。2台目以降は、団地外で、入居する方自身で探していただくこととなります。

新しい公民館の創造

第42回 飯田市公民館大会

2月20日(日) 午後0時45分～5時15分 場所：飯田市公民館

公民館は、身近な地域での学び合いを通じて地域の力を培ってきましたが、この力をさらに高めていくことが求められています。地域が自立し教育力を高めていくため、これからの公民館に求められる新たな役割を共に考えます。

公民館関係者に限らず、多くの皆さんの参加をお待ちしています。

全体会 午後0時45分～1時30分

社会教育功労者表彰ほか

市長講演 午後1時30分～2時

演題「**地育力の向上と公民館**」

基調講演 午後2時～3時

演題「**これからの公民館のはたす役割**」

・講師 佐藤一子氏（東京大学教授）
全国の公民館の状況、公民館が社会の変化に対応できているか、その中で飯田市の公民館はどうあるべきかについてお話しいただきます。

第1分科会 午後3時15分～5時15分(以下同じ)

**「住民自治力を培う公民館
～「大人の学校」の実践を通して～」**

日本福祉大学の太田裕氏を助言者に、竜丘公民館の塩澤義男氏の「大人の学校」実践発表から、自立運営と会員の意識の高揚を図り住民自治力を高めるための公民館を考えます。

第3分科会

**「安心安全のまちづくり
～犯罪のない住みよいまちへ～」**

人々が安心して暮らしていくために、犯罪のないまちづくりはひとつの大きな課題です。そこで飯田警察署から犯罪の現状と対策を聞き、今地域に求められていること、地域でできることを考えます。

第5分科会

「公民館報の意義と役割」

山形村公民館編集部長高山英一氏、高森町公民館編集部副部長松島健治氏と橋南公民館広報委員長北林明氏を迎え、公民館報の意義や役割に対する理解を深め、読みやすく親しみのある公民館報の編集について学びます。

会場および駐車場案内図



参加を希望する方は、飯田市公民館あてに電話またはEメールで「希望する分科会名」をご連絡ください。

当日は託児室を用意します。託児は無料ですが、希望される方は事前電話でお申し込みください。

下伊那教育会館駐車場(上図)を用意してあります。ご利用ください。

ご不明な点は、飯田市公民館までお問い合わせください。

第2分科会

**「これからの子育て
～わたしたちができることを考えよう～」**

誰もが安心して子育てできるように、地域や社会全体で子育てを支えることが必要です。今、私たちに何が求められているかをビバ・チャイルド代表の椎名咲子氏とおしゃべりサラダ代表の松村由美子氏を交えて考えます。

第4分科会

**「これからの文化事業を考える
～文化委員会の活動から～」**

長谷部三弘氏(元飯田市公民館副館長)より話題提供を受け、飯田市公民館の委員会制度に文化委員会が規定された背景や経過について学びます。これからの文化事業や文化委員会のあり方を考えます。

第6分科会

「地域スポーツと公民館～新しく求められる地域スポーツの仕組みと体育事業～」

体育事業の見直しを図る座光寺公民館体育委員長の長沼豊氏と、地域スポーツの振興に取り組む高陵地区文化スポーツ活動運営協議会の坂本剛敏氏と体育指導委員の畠中昭男氏の実践から、これからの体育事業の役割を考えます。

問合せ 飯田市公民館 ☎(22)1132 Eメール iccc01@city.iida.nagano.jp

平成記念

かざこし子どもの森公園 通信



これからの予定



雪山登山風景



「森森探検隊」

冬のかざこし山に登ってあったか汁を食べよう
雪の中を風越山山頂を目指して登ります。お昼は火をたいて温かいものを作り、みんなで食べましょう。
2月19日(土) 8:30～17:00
集合:8:30
集合場所:子どもの森公園駐車場
参加費:200円(保険料)
申込締切 2月16日(水)
詳細はお問い合わせください。



「なかまの館体験学習」

時間はいずれも
10:00～12:00、
13:30～15:00
参加費:無料
ステンドグラス作り
2月13日(日)・26日(土)
紙ひこうき大会
2月20日(日)
貝で作るおひなさま
3月6日(日)
5円玉笛作り
3月12日(土)



「絵本の読み聞かせ」

モンクールさんがその日にちなんだ絵本を読んでくれます。
毎週日曜日 13:30～14:00
場所:なかまの館ふくろう文庫
都合により中止の場合もあります。事前にお問い合わせください。



「食の工房体験学習」

簡単窯焼きピザ作り
2月27日(日)、3月5日(土)
11:00～14:00
材料費:300円
いももち作り
3月12日
11:00～14:00
材料費:200円



「土の工房体験学習」

クリスタルペンダント作り
3月13日(日)
10:00～12:00、
13:30～15:00
参加費:無料

問合せ かざこし子どもの森公園事務局 ☎(59)8080 FAX(59)8079 <http://www.dia.janis.or.jp/kazetaro/>



冬の草木を学ぼう

2月19日(土) 9:00～11:00

夏には葉っぱを落として寂しい姿の植物たち。しかし、この厳しい寒さの中しっかりと生きています。「冬の草木」をテーマに、そんな植物たちの「冬越しの知恵」を学びます。

持ち物:筆記用具



これからの講座予定

草花カルタに挑戦!

2月26日(土) 9:00～11:00

草花について、映像や草花カルタ作りを通して、みんなで楽しく学びます。 持ち物:筆記用具



万一人のための救急救命法 基礎編 (成人講座)

2月27日(日)
10:00～17:00

救命法の国際資格「メディックファーストエイド」(MFA)を取得できます。今回は基礎編・大人の傷病者に対する心肺蘇生法や止血法などを学びます。あなたの手によって救われる命があるかもしれません。

持ち物:筆記用具、弁当 教材費:1,000円



写真講座2 (成人講座)

2月23日(水) 9:30～11:30

3カ月連続講座の2回目。飯田の写真家・宮島功氏を講師に迎え、写真の取り方を学びます。テーマは「デジタルとフィルムの違いを学ぼう」。乞うご期待!

持ち物:筆記用具、カメラ、前回の作品(写真講座1に参加した方)
写真講座1に出ていなくても参加できます。

天竜川総合学習館

かわらんべ 通信

申込・問合せ
天竜川総合学習館かわらんべ ☎(27)6115
<http://www.tenjo.go.jp/kawaranbe/>



基礎から学ぶ
易しい考古学講座

上郷考古博物館では、飯伊の古墳時代を例にとり、考古学を易しく学ぶ考古学基礎講座を開きます。

期日

- 1回目 2月19日(土)
- 2回目 2月26日(土)

時間 いずれも午前10時～11時30分

場所 上郷考古博物館

講師 学芸員 山下誠一

問合せ 上郷考古博物館

☎(53)3755

60歳から始めよう
生きがい教室

4月からの生きがい教室会員を募集します。市内にお住まいの60歳以上の方ならどなたでも参加できます。

詳細は下表

申込締切 2月18日(金)

申込・問合せ

介護高齢課 高齢者係

内線5382

教室	開催日	時間	場所	会費
シルバ-コーラス	第2、第4火曜日	午後1時30分～3時30分	文化会館	入会金1,000円・会費 月1,000円
ハイカラ三味線	第1、第2水曜日	午後1時30分～3時30分		会費 月1,500円
ビデオ教室	第2、第3水曜日	午前10時～11時30分	さんとびあ飯田	会費 月1,000円
書道教室	第1、第3金曜日	午後1時30分～3時 午後3時～4時30分(1日2回)		会費 月1,000円
ハイカラピクス	第1、第3土曜日	午前10時～正午	上郷老人福祉センター (マイクロバス運行)	会費 月1,500円
万葉会(かるた会)	毎月1日	午前10時～午後3時		入会金1,000円・会費 月600円

就職術講座

求職者を対象に、「今、企業はどんな人材を求めているのか」「求められるためにはどうしたらよいか」など再就職のためのノウハウを学びます。

日時(4日間)

- 2月21日(月)～24日(木)
- 午前10時～午後5時

場所 地場産業センター

内容

自己分析、職業理解、職務経歴書の作成指導、面接訓練、就職活動マナーほか

3・4日目は個別キャリアアコンサルティング

受講料 無料

定員 15人

申込方法 電話、FAX、ホームページで申し込んでください。

主催 長野県産業活性化・雇用創出推進局

申込・問合せ (有)コミュニ

ニケーションズ・アイ

☎0263(27)8250

FAX

0263(29)2608

ホームページ

<http://www.commi.com/>

上郷考古博物館
ガラス製装身具作り

古代の人が身につけていたような、勾玉、丸玉などのガラス製アクセサリーを作ります。

対象 小学生以上(小・中学生は保護者同伴での参加とします)

- 日時 2月27日(日)
- 午前9時30分～正午

場所 上郷考古博物館

費用(材料費・入館料)

大人・高校生 500円

小・中学生 400円

募集人数 30人

申込者多数の場合は抽選となります。

応募方法 往復はがきに住所、氏名、年齢(学年・学校)、電話番号を明記の上、郵送してください。

応募締切

2月19日(土)(消印有効)

申込・問合せ

〒395 0003

飯田市上郷別府2428 1

上郷考古博物館

☎(53)3755

勤労青少年ホーム
中国家庭料理講座

春巻、水ギョーザなど、中国の家庭料理を、中国出身の方を講師に迎えて学びます。お気軽にご参加ください。

対象

市内に住んでいるか、市内に勤務するおおむね35歳までの方。

- 日時 2月15日(火)
- 午後7時～9時30分

講師

筒井りか氏ほか3人

受講料(材料費)

1,500円

定員 16人(先着)

持ち物

エプロン、三角巾

申込方法

ホーム窓口まで費用持参の上お申し込みください。

申込受付時間

月曜日～土曜日

午前8時30分～午後9時

日曜日・祝日

午前8時30分～午後5時

申込・問合せ

勤労青少年ホーム

☎(23)5571

第10回 市民のつどい

認め合い
ともに歩もう きらめく明日へ

いま輝いて **女**と**男**

2月27日(日) 飯田文化会館 9:30~15:20 (9:30受付)

昼食付き参加券 500円(昼食との引き替え時間 11:30~13:00)

9:50 アトラクション(JA山本おふくろ太鼓)

10:20 開会式・表彰式

10:50 事例発表・寸劇

「家族協定を結んで」・・・梅田義男氏
「日本に住んでみて」・・・今村ミリアム氏、中川オルガ氏
「上久堅地区の地域づくり」・・・内山要子氏
寸劇「今輝家の朝」・・・市民のつどい実行委員

12:10 昼食交流会・ふれあい市場(ふれあい市場は 9:30~13:00)

13:30 講演会「地域、家庭、仕事、趣味いずれも大切に、自分らしく生きよう」
~15:00



講師 中村 彰氏(メンズセンター運営委員長、ジャーナリスト)

多様な個性を認め合い、男性が「男らしさ」に縛られることなく、また女性を抑圧することなく、しなやかに生き生きと生活できる社会の実現をめざし活動を行っている。

手話通訳、要約筆記あり。
託児を希望の方は事前にお申し込みください。
参加券はどの時間から入場しても有効です。

問合せ・託児の申込
男女共同参画課 ☎(22)4560

同日開催

多文化共生シンポジウム

2月27日(日) 飯田人形劇場 15:30~17:00

市内に住む外国籍住民の方、市内外で国際交流活動を行っている方を招き、「多文化共生」について意見交換を行います。

現在、市内に約3,200人の外国籍住民が居住しています。外国籍住民と日本人住民が同じ地域に住む身近な存在であるという視点から「多文化共生」について考えます。
入場は無料です。

コーディネーター：池上重弘氏(静岡文化芸術大学助教授) パネリスト

- ・石塚良明氏(浜松国際交流協会事務局長)
- ・原レティシア氏(United Filipino Community 副会長)
- ・下平千津子氏(Hand in Hand 和楽会員)
- ・横田盛廣氏(飯田国際交流推進協会会長)

託児を希望の方は2月18日 までにお申し込みください。

問合せ・託児の申込 企画課 ☎(22)4511 内線2226

各種相談所(50音順) 相談は無料、秘密は厳守します。お気軽にご相談ください

相談名	日時	場所	問合せ	相談名	日時	場所	問合せ
家庭児童相談(電話でも可)	毎週月~金曜日 9:00~17:00	りんご庁舎2階	家庭児童相談室 内線5344	相女性のため相談の	悩みごと	毎週月~金曜日 9:00~17:00	りんご庁舎2階 児童課 内線5347
教育相談	毎週月~金曜日 9:00~17:00	教育委員会棟 3階	教育相談室 内線3581 専用電話(FAX兼用) ☎53-8730		法律相談	2月15日(火) 13:30~16:30	りんご庁舎3階
行政相談	2月8日(火) 13:00~16:00	りんご庁舎3階	庶務課 内線 2111	心配ごと相談	特別	毎週火曜日 13:00~16:00 受付15:00まで	さんとびあ飯田 社会福祉協議会 ☎53-3180
結婚相談	2月13日(日) 2月20日(日) 13:30~16:30 受付15:00まで	さんとびあ飯田 (福祉会館・東栄町) 本人の相談が原則 写真1枚が必要	社会福祉協議会 ☎53-3180		一般	毎週月~金曜日 9:00~17:00	
こころの相談日	2月8日(火) 2月22日(火) 13:30~16:00	りんご庁舎2階 相談室	保健課 内線5515 (予約制)	電話乳幼児育児相談	毎週木曜日 9:00~11:30	専用電話	☎52-0633
子育て相談	毎週月~金曜日 毎週土曜日 9:00~14:00	飯田中央保育園 (地域子育て支援センター)	飯田中央保育園 ☎22-4133	農業に関する相談	毎週月~金曜日 9:00~17:00	市役所本庁3階	農業振興センター (農政課内 内線3529)
障害をお持ちの方またはご家族の相談	毎週月~土曜日 9:00~17:45 (第1水曜日は17:15まで)	さんとびあ飯田	ハーネット-いいた ☎56-4474	法律相談 (現在係争中のものは除く)	2月18日(金) 13:00~17:00	さんとびあ飯田	社会福祉協議会 ☎53-3180(予約制)
消費者相談	毎週月~金曜日 9:00~17:00	りんご庁舎3階	男女共同参画課 内線5352	ボランティア相談	毎週月~金曜日 9:00~18:00	さんとびあ飯田	社会福祉協議会 ☎53-3180

市長の留守番電話 ☎23-8181 市民の皆様のご意見
ご相談をいつでもお受けします。

飯田の文化財

飯田市指定文化財(建造物)

運松寺鐘楼門(うんしょうじしょうろうもん)

享保20年(1735)に建築された、飯田市最古の鐘楼門(鐘つき堂を備えた門)です。南都工匠(奈良県の大工)の坂巻新兵衛吉英の弟子によると考えられ、虹梁の絵様や臺股の形式に、当時の建築様式がよく表われています。



美博だより

美術博物館 ☎(22)8118

山都飯田。日本画の彩り 第6章

絵画は、しばしば時間を画面の中に閉じこめます。静止しているはずの画面にゆったりとした時の流れを感じさせたり、あるいは逆に一瞬の出来事を永遠に画面にとどめたりします。

すぐれた画家たちは、その筆の力で時間までも操ってしまうのでしょうか。

1年間歩んできました所蔵作品による「山都飯田」のシリーズ。最終章になります今回の展示は、時をめぐる視点で日本画作品を見つめていきます。



菱田春草筆「夕の森」明治37年(1904)本館蔵

展示期間 2月18日(金)~3月27日(日)

開館時間 午前9時半~午後5時(入館は4時半まで)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日) 2/27

観覧料 一般310円(210円)、高校生200円(150円)、小中学生100円(80円) ()内は20人以上の団体

文化ガイド

飯田文化会館 ☎(23)33552

ココンとましゅ&Keiのコメディ・オムニバス 「、#。」

2月6日(日) 開演10:30
飯田人形劇場



いろんな楽器演奏と愛すべき小動物の人形が繰り出す、とっても愉快で素敵な世界!

出演 人形劇団ココン、ましゅ&Kei
チケット 大人:1,000円
子ども・学生:500円(3歳未満無料)



「新日本フィルハーモニー交響楽団」飯田演奏会



ピアノ
小山実稚恵

指揮
広上淳一

2月12日(土) 開演18:30
飯田文化会館ホール

演奏曲目 J シュトラウス / 喜歌劇「こうもり」序曲
ショパン / ピアノ協奏曲 第1番 水短調 作品11
ベートーヴェン / 交響曲 第6番 へ長調「田園」作品68
チケット S席:6,000円 A席一般:4,000円
A席高校生以下:2,000円(全席指定)
文化会館ほかで好評発売中
良い席はお早めに!!

飯田市の人口(1/1現在) 人口=105,752人(前月比-45)男50,624人/女55,128人 世帯=35,865戸(前月比-24)

発行・編集:飯田市役所企画部秘書広報課 / 〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534 TEL.0265(22)4511 FAX.0265(53)4511 インターネット <http://www.city.iida.nagano.jp/>
古紙配合率100%白色度70%の再生紙、大豆油インキを使用し、環境に配慮した広報紙作りに努めています。